

2/19 農業女子会つるおか研修会



女性農業委員OBと現委員による「農業女子会つるおか」の研修会が市内北京田のスイデンテラスで開催されました。女性委員経験者と前・現会長、事務局19名が参加し、予定時間遅延の熱心な研修となりました。

講師のヤマガタデザインの中條氏は地元出身の32歳。“次世代に繋ぐ街づくり”を目標に、市・JA・大学と連携し、投資、人材、魅力で農業へのUターン・Iターンの若者の育成を行っています。

食べ物がいない世界はない。農業は継続性があり、人間らしい生活や土いじりがしたいという人が近年関心を寄せているとのことでした。都会で就農の呼びかけに参加した若者の6割が女性という結果は、女性農業者の私たちには興味深く嬉しいことです。

中條氏は、「研修生の農業への初期投資は不可能に近い。野菜づくりから始め、米づくりへ向かうことが的確でないか」と話し、新たにチャレンジする人に対して「最初から農業の厳しさを前面に出すのではなく、希望を持たせるような話しかけをしてほしい」と強く訴えていました。

また、「地場野菜や中山間地の農業にも視点を持ってほしい」という女性委員の声に、「将来は土地利用型農業、山麓農業も必要でしょう」と話されました。

若者、子どもが少なくなっている今日、次世代に伝える農業を目指し、子どもを育てることも重要です。隣のキッズドームには、元気でにぎやかな声が響いていました。

(佐藤みほ委員)



鶴岡市農業者年金研修会 2/21

あつみ温泉「久遠」を会場に鶴岡市農業者年金協会研修会が開催され、各地域の会員など64名が参加しました。

はじめに渡部長和会長から、「農業者年金は老後の生活安定、新規就農者や女性農業者の将来設計においても優れた制度であるため、ぜひ加入を勧めていただきたい」との話がありました。

第一部では、農業者年金に関する「〇×クイズ」を通じて、年金の有利性を和気あいあいとみなさんに理解していただけたと思います。

第二部では、元小学校教員で日本演歌楽会会長（会員数1名）の大戸眞澄さんによる「ギター弾き語り演歌楽講座」が行われました。歌に感動、お話に納得、大爆笑！と、参加された皆さんも楽しい時間を過ごしていました。

最後に温海地域の特産品が当たるお楽しみ抽選会が行われ、皆さん笑顔の中親睦を深めることができました。

(佐藤宜夫推進委員)

